

## 退任のあいさつに代えて

ジョン・エイモス 前ヘッドコーチ

9月30日をもって任期満了となり、日本のヘッドコーチを退任いたしました。以下、これまでの4年間の振り返った所見を謹んでご報告いたしますとともに、退任のご挨拶と変えさせていただきます。こうして無事に、任期を満了することができましたことを、心より御礼申し上げます。

### 所見---フィードバック

今後に向けて、統率の取れた高いレベルの組織体系が、選手や組織の成長に多大な貢献をし、最大限の成功を達成しうると信じております。最終的に、前向きな変化を受け止めて実施するか、それとも従来通り進めるかを判断するのはJPPFです。前に進むのは難しいことだと思いますが、実現してほしいと願っています。従来やり方に戻すことは、ハイレベルな組織体制では否定的な対応、すなわち安易な方法と受け止められ、時に同じ結果を招くこととなります。時間をかけて変化を起こし、前へ進むべきと考えます。

現在JPPFに所属している選手には、正しく指導すれば才能を発揮する可能性を秘めた選手が大勢います。選手が頭を使って賢くトレーニングすれば、ケガもなく続けられます。選手に適切なトレーニング・プログラムが与えられている限り、日本人選手は間違いなくパリ2024でトップ10圏内に難なく入ることができるでしょう。さらに上位を目指すことも可能でしょう。選手とコーチが意見を交換し、最善のアイデアに同意し、その上で同意した信条／ビジョンに向かってゆかなくてはなりません。よりオープンに、より透明性を高く、より良い進歩に向けた最善のプロセス……建設的な批判も時には有効です。このようなプロセスを経ることで、JPPFはメンバーが思うJPPF体系の強みを十分に理解し、強化すべき弱点を特定し、またフィードバックを活用してより結束力の強いチームを作ることができるでしょう。JPPFは優秀な組織です。十分検討したポジティブな変化があれば、さらに素晴らしい（最高の）組織になることができると期待しております。